



郡山市立熱海小学校  
 学校便り No.17  
 平成 27 年 9 月 4 日  
 文責：伊藤孝行

## 今回の題字は 5 年増子知希さんです。

土星や月、星をちりばめて宇宙をイメージしたそうです。優しい感じです。

## 5・6 年水泳記録会実施

今日は薄日が差し、気温、水温とも水泳に適したのになったので、体力的にも耐えられる 5・6 年の水泳記録会を実施しました。



## 新しく友達が増えました。

6 年生に「横沢芳来(よこさわ はく)」君が、山形県の長井小学校から転入しました。背が高く気持ちの優しい男の子です。熱海町は初めてですので、みんなで親切に優しく接してほしいと思います。

## 子どもたちの嬉しい変化。

2 学期に入り子どもたちに嬉しい変化が見られるようになってきました。

雨の日、体育館で全校生で遊んでいるとき、6 年生のある男の子は、ボールをアンダーで山なりに投げていました。私が、「どうして山なりに投げているの？」と尋ねると、その子は「思い切り投げたら小さな子にけがをさせてしまうかも知れない。」と話してくれました。自分の行動を抑制することができる自制心が育っていることを嬉しく思いました。



また、1 階のトイレのスリッパがいつ

も揃っていて感心だなと思っていたら、2 年生の子どもたちが、進んでスリッパをそろえていました。それも一人二人ではなく、殆どの子どもです。思いやりの心の成長、これも嬉しいことです。

## 「いじめ」問題について

### 「ところであなたはじめていない？」

前回、始業式の中で「いじめ」について話をしたという記事を書きました。

当然「いじめ」は人としてしてはいけないこと。そのことが前提ですが、子どもたちの間には大小さまざまなトラブルがあります。例えば「消しゴムを貸してと言ったのに貸してくれない。いじわるされた。」「一緒に遊ぼうと言ったのに無視された。」友達関係とのトラブルは相手が出て、どちらにも言い分があり、「いじめ」と判断するには疑問に思うこともあります。

学校では、子どもの訴えには、以下のような対応をします。

始めは、ゆっくりと話を聞いて落ち着かせます。そして、「ところで、あなたは〇〇くんは何もしなかった？」と尋ねます。興奮しているときは、「だって〇〇君が」としか言いませんが、落ち着いてくると「〇〇君が、ばかって言ったから、たたいた。そしたら蹴ってきた。」と訴えの前後の事も話してくれます。そこまで聞いて「いじめ」に該当するか判断する材料が一つ手に入ります。次に相手の〇〇君や周りにいた子どもたちにも話を聞き、総合的に判断しています。

**子どもは「いじめ」の被害者にも加害者にもなります。時々、「ところで、あなたは友達をいじめていない？」と尋ねてください。その一言は、お子さんのいじめ行動を抑制させることになります。**